

## 令和7年度予算の編成状況（新規事業）についての意見と意見に対する市の考え方

・実施期間：令和6年12月9日から令和7年1月9日まで

・意見提出者数・意見総数：1名、1件

整理 番号	提出された意見		意見に対する市の考え方
1	<b>7 1：柴崎地区産業用地整備事業 7 2：市有工業用地活用事業（企業立地推進課）</b>		
	意見	布佐駅南口の活性化として、企業の誘致に向けた活性化づくりについて何かできないか。	<p>布佐駅南口のスーパー撤退後、旧スーパー跡地の管理会社へ複数回聞き取りを行ったところ、新たな事業者を誘致しているとの回答を得ています。</p> <p>引き続き、早期に立地出来るよう要請していくとともに、市としても所有者の意向に沿って、本市の『あびこ創業・事業物件ナビ』に掲載するなど働きかけていきます。</p> <p>また、条件によっては我孫子市企業立地促進補助金制度の活用が可能となりますので、制度の案内に努めていきます。</p>
理由	布佐駅南口前のスーパー撤退から何年も経っており、平和台地区は高齢化が深刻となっていることから、買い物難民、生活難民問題が切実である。新しい若者が移住しやすくする上でも活性化づくりを求める。		<p>企業立地促進補助金制度は、事業者の新規立地や再投資などについて、固定資産税相当額最大1,000万円を3年間支援する制度であり、令和5年度に布佐地区のスーパーマーケットの建て替えに伴い、我孫子市企業立地促進補助金制度に基づき認定し、リニューアルオープンに向けた支援を行いました。</p> <p>なお、市内東地区（湖北、新木、布佐）では、創業者向けの支援制度となる創業支援補助金において、西地区（我孫子、天王台）に比べ、最大12万円増額となる家賃補助を行っています。</p> <p>同制度を通じて、創業者に布佐地区で買い物に需要があることを案内していきます。</p>